第2次 豊岡市

地域福祉推進計画

一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり

平成25年度 → 平成28年度 (2013) (2016)



■かけがえのない わたしたちのふるさと とよおか ■

豊岡市社会福祉協議会

"地域福祉"ってご存じですか??

近年、少子高齢化や核家族化の進展、家庭機能や生活習慣の変化などにより、地域住民のつながり、 関係が希薄になってきています。市民が抱える福祉課題も多様化してきており、公的なサービスだけで は対応ができなくなっています。

このような地域状況の中で、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域をめざすためには、身近な地域での様々な困りごとについて、自助(一人ひとりが取り組むこと)、共助(地域で協力して取り組むこと)、公助(行政が行うこと)がそれぞれ役割を果たしながら連携・協働することが大切です。

これらの取り組みを地域福祉と言いますが、難しく考える必要はなく、隣近所との付き合い、また、地域で何かあったときにお互いが支え合い・助け合うこと等が地域福祉の姿であり、今後この計画によってめざすべき姿となります。

地域の様々な困りごと…

近隣のつながりの 希薄化 住民の地域活動への 参加が少ない

災害時に地域で 対応ができない 地域交流の場がなくなりつつある

高齢者の 閉じこもり・孤立 障がいに関する 地域への理解 地域で悩みを相談できる人がいない

地域活動の担い手不足



地域福祉推進計画 …地域課題の解決に向けて!!

地域福祉推進計画とは、地域での様々な困りごとを解決するために、豊岡市社会福祉協議会が中心となり、地域課題を話し合う場をつくり、地域での見守り・支え合い活動を、住民の皆さんとともに推進していく計画です。

そこで地域住民の皆さんと一緒に地域の課題を解決していけるように、豊岡市社会福祉協議会のめざすべき将来像としての基本目標と、地域課題の解決のための 3 つの重点的な目標を掲げ、地域福祉を推進していきます。

あいさつ運動 キャラクター **あいちゃん** 豊岡市社会福祉協議会では、地域福祉推進計画を 策定することで、多くの地域住民、各関係機関等と 連携・協働し、様々な取り組みを行い、地域福祉の 推進をめざしています!!

地域福祉推進計画の体系図

基本目標

一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり

住民一人ひとりが地域づくりの主体として、地域のつながりや、共に支え合い、助け合うという気持ちを持ち、「このまちに住んでいてよかった」と思える地域をめざすとともに、慣れ親しんだ地域の中でいつまでも暮らしていきたいという願いが込められています。

重点的な目標

支え合いの 地域づくり 安心な

地域ネットワークづくり

3

社会福祉協議会地域福祉推進基盤の強化

課題解決の5つの仕組み

仕組み1

誰もが顔見知 り、あいさつ・ 声かけからつ ながる地域を つくります

仕組み2

あなたも私も 地域の一員、 誰もが活動に 参加できる地 域をつくります

仕組み3

どんなときでも助け合い、 支え合える安心・安全な地 域をつくります

仕組み4

必要な情報が確実に行き渡り、気をしている。 がはづくまするようでするます。

仕組み5

世代を超えて、 共 に 学 び あ い、思い や り の気持ちを育 む地域をつく ります

課題解決に向けた住民への13の提案(3頁~6頁参照)

5 つの仕組みと課題解決の具体的な取り組み



仕組み1

誰もが顔見知り、あいさつ・声かけから つながる地域をつくります

近年、身近な地域でも住民同士の関係が希薄になり、近所付き合いなど、身近なつながりや 交流が少なくなっています。

地域のつながりの希薄化に対して、普段から顔が見え、声をかけ合い、気軽に交流できる仕組みをつくり、希薄になりつつある近隣のつながりを広げていきます。

具体的な取り組みとして…

- 動かさつからのながりづくり
- ② 向こう三軒両隣声かけ活動
- ❸ 気軽に集まれる場所づくり

あっ!佐藤さん ありがとうございます…

こんにちは! 回覧板持ってきたわよ! かわいいお子さんね! 子育て大丈夫?





活動事例

地域のつながり、『だんだん』と広がれ

ひがしがまえ

日高地域 東構区

東構区では、「いつでも誰もが気軽に寄れるようなことはできないか」と考え、東構区のいきいきサロンスタッフが中心となり、毎週水曜日に公民館を利用し、東構区ふれあい喫茶『だんだん』が開かれています。『だんだん』では、高齢者から子ども連れのお母さんまで、誰もが気軽にコーヒーを飲みながら交流を深め、『だんだん』を通じて地域での顔見知り、住民同士のつながりが広がっています。

活動に 参加している 住民の声

喫茶『だんだん』がで きてからは、馴染みの顔

にも出会え、毎週楽しみにしています。

「やっぱり家にばっかりいるのはよくない!!」

東構区 世帯数:288 高齢化率:23.0% (平成24年9月1日現在)



仕組み2

あなたも私も地域の一員、 誰もが活動に参加できる地域をつくります

近隣のつながりが希薄になる中で、地域住民が感じている悩みや不安は多様化しており、住 民個人では対応できない問題も多くなってきています。

多様化する課題を地域住民の視点で検討することで、自分たちの地域を良くしていこうという思いをつなげ、住民一人ひとりが主役となる仕組みをつくります。

う~ん、そうか… 一度みんなで 話し合ってみようか! 鈴木さん、最近一日中、区内を歩いとん なるみたいだけど…心配だわ!

同じことを繰り返し言っとんなるわ!

具体的な取り組みとして…

- 支え合いの地域づくり
- 2 子ども福祉委員

地域の困りごとの 解決に向けて話し合う 認知症が すすんどる みたいだなぁ! 鈴木さんの 最近の様子は とうですか?

活動事例

ご近所同士が家族と思い、助け合える地域に

豊岡地域 寺区

寺区では、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方が、救急搬送など緊急事態になった時の備えとして、「安心カード」の取り組みを行っています。

この取り組みは、区の民生・児童協力委員が、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の訪問活動を行うなかで必要性を感じ、区をあげて全世帯に広げる努力をされ、現在ではほとんどの世帯が設置しています。区民の間では、「何かあった時は頼むよ」と申し合わせ、お互い様の気持ちでいざという時は助け合う関係づくりが広がっています。

現在、区内では新たに「認知症の方をご近所で見守る仕組みづくり」をすすめています。認知症の方の状況をご近所で共有することで見守りをお願いし、ご近所からは民生・児童協力委員に様子等が報告されるという地域での見守りのネットワークづくりが広がりつつあります。

ご近所で助け合うことで、認知症になっても安心な地域づくりの気持ちが広がっています。

活動をする上で心がけていること

緊急時だけではなく日頃からご近所 が仲良くすることが肝心。区民が「ご 近所も家族」という気持ちになること が大切です。

金持ちよりも『人持ち』に!!

寺区 世帯数:85 高齢化率:45.9% (平成24年9月1日現在)



仕組み3

どんなときでも助け合い、 支え合える安心・安全な地域をつくります

近年の地震や台風等の自然災害、高齢者や児童といった弱者を狙った犯罪など、地域住民を 脅かす問題が多くなっています。しかし、地域からは「災害などの緊急時に地域では対応でき ない」といった意見が多く聞かれます。

この様な状況を改善するためには、地域における不安や危険に対して、地域全体で助け合い、 支え合える仕組みをつくり、普段から隣近所で見守り、気にかける関係づくりを広げます。

> 中村さんとこには、 夕食のおかずをおすそわけ しとんなるわ!

具体的な取り組みとして…

- 支え合いマップ
- 2 住民座談会

高橋さんってこんなに 活動しとんさるんか…

高橋さんだけど、 田中さんとこに、毎日 顔出しとんなるわよ!

> こうやって、 区民の支え合いを 地図上で確認すると 地域の状況が ようわかるなぁ!

高橋さんと田中さんの 家を線で結ぶと!

仕組み4

必要な情報が確実に行き渡り、 気軽に相談しあえる地域づくりをすすめます

情報化する社会の中、日常生活を送る上で情報は欠かすことができないものとなっています。 しかし、地域住民からは「欲しい情報が手に入らない」「いざという時にどこに相談していいの かわからない」といった声が聞かれます。

市民が必要とする情報を正確に捉え、タイムリーに発信すること、また、情報の発信により 寄せられた様々な相談に対応できる仕組みづくりをすすめます。

具体的な取り組みとして…

- **①** 気軽に立ち寄れる 相談窓口の設置
- ② 福祉委員活動の推進
- ❸ 市民にわかりやすい 情報の発信



何か知らないかしら?

仕組み5

世代を超えて、共に学びあい、 思いやりの気持ちを育む地域をつくります

少子高齢化や核家族化等の進展、家庭機能や生活習慣の変化などにより、地域住民の交流が 減り、他者との心のふれあいから思いやりの気持ちを育む機会が減っています。

今後は、子どもから高齢者までが福祉のこころを育て、思いやりの気持ちを育む仕組みをつ くり、地域の福祉活動への関心を高めていきます。

大人も

この「ほこら」は、昔からこの場所にあって、 この地域を守ってくれているんだよ!

具体的な取り組みとして…

- 地域探検隊
- 2 社協出前講座
- ❸ 福祉教育・福祉学習



活動事例

からかわ それ行け!!わがまち探検隊 城崎地域 今津区/但東地域 唐川区

子どもと保護者等を中心に、地域住民が自分たちの住んでいるまちを楽しみながら探検し、 まちの歴史や防災・防犯等について学ぶなど、まちのいいところを再発見することを目的とし て「地域探検隊」を推進しています。子どもと保護者、区民が一緒に区内を歩きながら探検し、 防火水槽、消火栓のある場所の確認、交通の危険な箇所、昔から伝わる話などを聞くことで、 地域への愛着を深めています。

今津区では、区民が探検隊の隊長を務めるなど、大人から子どもまで地域一丸となった取り 組みから地域の顔見知りが増え、唐川区では、区の地蔵堂や神社などを見てまわることにより 多くの歴史を学び、地域を知る場、多世代との交流の場となっています。

現在、市内の多くの地域で探検隊をとおして、地域住民の新たなつながりが生まれ、今後の 地域活動に向けた取り組みのきっかけづくりとなっています。

活動に 参加している 住民の声

探検隊を実施することで、子ど もと地域住民が顔見知りとなり、

それぞれの団体、組織の取り組みを知ることができ ました。

これからは、みんな一人ひとりができることを日頃 から行っていくことが大切であることを感じました。



今津区 世帯数:138 高齢化率:29.6%/唐川区 世帯数:65 高齢化率:37.7%

(平成24年9月1日現在)

計画期間

平成 25 年度(2013年)から平成 28 年度(2016年)までの 4 カ年とします。

地域福祉の推進体系

計画の進行管理については、地域の福祉活動を着実に推進していくために、市民から組織される「地域福祉推進委員会」「地区センター運営委員会」等で、この計画の進捗状況の点検と評価を繰り返し行い、計画の進行に反映します。

また、下記の図のような推進イメージで、地域の困りごとを把握し、住民とともに解決に向けて話し合うなど、地域の福祉活動の支援を行います。

地域全体への啓発



地域住民のつながりを広げるために、 あいさつ運動や近隣への声かけ活動等 を啓発します



地域課題の把握・共有



地域の困りごとの把握・共有を、支え合いマップや住民座談会等の地域活動から行います

地域課題の解決に向けた活動の推進

支え合いの地域づくり







地域の困りごとについて話し合い、解決に向けて 取り組むための「支え合いの地域づくり」

豊岡市社会福祉協議会 (編集・発行)

中央センター 日高健康福祉センター **2**0796-43-1333 豊岡市日高町祢布891-2 豊岡地区センター 豊岡市城南町23-6 豊岡健康福祉センター **2**0796-23-2573 城崎地区センター 豊岡市城崎町湯島625-9 城崎健康福祉センター **2**0796-32-4503 竹野地区センター 豊岡市竹野町須谷1478 竹野健康福祉センター **2**0796-47-1423 日高地区センター 豊岡市日高町祢布891-2 日高健康福祉センター **2**0796-42-0100 出石地区センター 豊岡市出石町福住1302 出石健康福祉センター **2**0796-52-3024 但東地区センター 豊岡市但東町出合433-1 但東健康福祉センター **2**0796-54-0181

ブログ…とよおかのふくし http://blog.canpan.info/toyooka-syakyo/